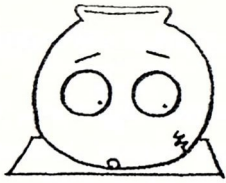


自己肯定感を育もう ⑨  
大切な君たちへ

昔々のお話です。

ある家に古びた水がめ  
がありました。



水がめは、自分の体に  
みびが入っているので、  
とても悲しくなりました。



みびが入った水がめを  
だんな様は捨てたりせず、  
いつもピカピカにみがいて  
くれます。



井戸から家になどり着く  
までに、水が半分になっ  
てしまふのです。

みびの入った水がめに、  
だんな様は言いました。



「いつもありがとう。  
君のおかげで、毎日  
気持ちよく仕事が  
できるんだよ。」



でも、みびの入った水がめは  
だんな様が言ったことの  
意味がわかりませんでした。  
ある日、水をくんだ帰り道、  
だんな様が言いました。

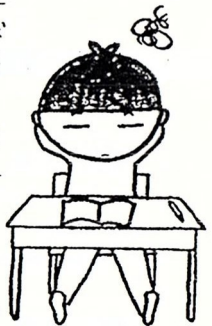
「下を見てごらん。」



みびの入った  
水がめがしずく  
をこぼした通り道  
には、きれいな  
草花がたくさん  
生い茂っていました。



人間は、一人ひとり  
違います。



数学が苦手な人もいます。  
でも、そんな人こそ、数学の  
の苦手な子がつまずき、  
やすい所がバッチリわかる、  
ステキな先生になるかも  
しれません。



自分の嫌な所は、誰かが  
うらやましく思っている所  
かもしれせん。



一人ひとりが特別です。  
あなたの良さに気付く  
人がきつというはずです。  
そして、あなたならしさを  
引き出すタネをまいて  
くれるかもしれせん。  
だんな様がしていた  
ように。